

鎌倉絵図にみる近世以降の観光資源の成立および継承に関する研究

—(その1)観光資源の成立過程について—

Study on the Establishment and Succession of the Tourism Resource after Early Modern Kamakura

-(Part1) Focus on establishment process of “Kamakura Ezu”-

○肥留川 稜¹, 横内 憲久², 岡田 智秀², 押田 佳子², 大淵 雅己¹
 Ryo Hirukawa¹, Norihisa Yokouchi, Tomohide Okada², Keiko Oshida², Masaki Ohfuchi¹

Abstract: Kamakura Ezu are tourism maps in early modern Kamakura. This paper aims to clarify tourism resource at that time, from five Kamakura Ezu. And thus, we investigated, the process and succession of them. As a result, tourism resources were establish in early modern Kamakura

1. 研究目的

鎌倉は江戸時代（以下、近世）以降、わが国を代表する歴史観光都市の1つとして繁栄してきた。現代においても、年間1900万人の観光客数を誇っており、由緒ある社寺仏閣をはじめとする様々な観光資源は常に人であふれている。

近世当時にみられた観光資源を把握する手段としては、旅行者視点では徳川光圀ら著名な旅行者の紀行文があり^[1]、彼らを受け入れる地元視点では、当時の観光産業の1つとして発展した「鎌倉絵図」がある^[2]。この絵図は16世紀頃に誕生した当時の観光マップであり、今日までに50枚以上が刊行されている^[3]。

以上を踏まえ、本研究では、この鎌倉絵図のうち地元で多く出版された「縦図」においてに着目し、これらに記載された観光資源の成立および継承状況を把握することを目的とする。なお本稿は、近世の主要な観光資源の成立過程を捉えるものである。

Table1. Research object and outline of Kamakura Ezu [表：筆者作成]

 <p>【鎌倉絵図の例（絵図5）】</p>		<p>【鎌倉絵図の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世～近代にかけて出版された観光マップ。今日までに50枚以上発刊 ・文字や絵などで構成 ・縦図と横図の2種類があり、縦図は鎌倉周辺の版元が作成 <p>【調査対象】</p> <p>5枚の縦図を分析対象とする（下表）。絵図は古いものから絵図1—5とした。</p> <p>【分析方法】</p> <p>絵図の文字情報を「観光資源」を捉え以下の通り12分類した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社寺 ・殿/堂/鐘 ・橋 ・川/水 ・屋敷 ・井 ・植物 ・地名 ・墓/塚・切通し・山/石 ・跡 	
		縦図番号	表題名
絵図1	不明	享保～元文	不明
絵図2	鎌倉絵図	延享～寛延	大坂屋孫兵衛
絵図3	不明	天明頃	不明
絵図4	鎌倉絵図	文化頃	大坂屋孫兵衛
絵図5	鎌倉絵図	文政頃	丸屋富蔵

2. 研究方法

Table1に本研究の調査対象および調査・分析方法を示す。

3. 結果および考察

Table2に観光資源の記載枚数を、Table3に観光資源の分類ごとの記載枚数を示す。

（1）観光資源の記載状況—Table2より、絵図に記載された観光資源は全223件がみられた。

Table2より、観光資源と記載された絵図の枚数との関係を見ると、全5絵図に記載されている観光資源は72件と全資源の3分の1以上を占めており、これらは定番の観光資源として確立されていたことが窺える。

Table3より、絵図ごとの観光資源数に着目すると、絵図4の165件が最多であり、絵図1の102件が最小であった。

観光資源の分類別に傾向をみると、社寺が最多の73件と他に比べ圧倒的に多いことがわかる。社寺は全絵図における記載件数が最多であることより、近世において最も重要な観光資源として位置付けられていたことがわかる。

Table4より、分類別に記載回数に着目すると、全5枚全てに記載されている件数は社寺の35件が最多であり、次いで地名が7件、跡や屋敷がそれぞれ5件であった。社寺には鶴岡八幡宮など現代における有名社寺が多数含まれ、このことよりこれらの観光的価値が近世において既に確立されていたことが窺える。

Table2. Relation between the number of published and Kamakura Ezu

[表：作者作成]

	記載された絵図の枚数					合計(件)
	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚	
観光資源数(件)	52	9	40	50	72	223
割合(%)	23.3	4.0	18.0	22.4	32.3	100.0

1：日大理工・学部・交通 2：日大理工・教員・まち

一方で、1枚のみの記載においても社寺の19件が最多であったことより、有名社寺以外の記載は版元の判断に委ねられていたと考えられる。

(2) 観光資源の成立過程—Table3より、絵図1に記載された観光資源数は、他の4枚に比べ50件以上少なく、分類ごとの記載枚数においても、絵図1が他と異なる傾向を示すことがわかる。特徴的な傾向を示すものとして、杉や松などの「植物」は絵図1にはみられないが、他の4枚には記載されている。このような絵図間の違いは、出版された時期に要因があるといえる。初期に作られた絵図1は、いわば鎌倉絵図のプロトタイプ的な存在であり、その後の試行錯誤を経て、絵図2以降はほぼ安定した観光資源の記載数へと至ったと推察される。

特に絵図2、4、5は、いずれも雪の下の版元であったことより、絵図2が作られた1830年代にはその後地域に浸透していたと考えられる。

4. 小結

本稿では、近世に観光産業の1つとして台頭した鎌倉絵図5枚に着目し、当時の観光資源およびその成立に至った過程を分析した。その結果、全223件の観光資源の内、72件は定番として確立されており、この多くは社寺であったことを捉えた。さらに絵図に記載された観光資源の共通性より、少なくとも1830年間には観光資源が地域情報として共有化されていたことを捉えた^[3]。

Table3.The number of tourism resource by categories [表：筆者作成]

観光資源の分類	記載件数(件)					分類ごと
	絵図1	絵図2	絵図3	絵図4	絵図5	
社寺	46	52	58	55	53	73
殿/堂/鐘	4	9	6	7	8	10
橋	1	7	10	6	7	11
川/水	3	9	10	9	9	13
屋敷	8	7	9	8	7	12
井	4	10	11	9	8	15
植物	0	3	1	3	4	4
地名	14	33	25	29	29	40
墓/塚	4	6	3	8	6	8
切通し	2	1	1	1	1	2
道	6	13	10	15	15	19
山/石	3	6	4	7	7	7
跡	7	8	8	8	9	9
小計	102	164	156	165	163	223(重複有り)

5. 参考文献

- [1] 押田佳子, 「徳川光圀『鎌倉日記』にみる近世鎌倉の観光および景観資源の発掘に関する研究」, ランドスケープ研究 vol.75, No.5, pp.373-376, 2012
- [2] 飯塚陽生, 押田佳子, 天野光一, 「近世鎌倉観光における観察対象と位置確認に関する研究」, 日本大学理工学部学術講演会講演会論文集, pp.415-416, 2010年
- [3] 松信泰輔, 「江戸時代の神奈川古絵図でみる風景」, 日本写真印刷株式会社, pp.68-67, pp.102-105

Table4.The number of published by categories [表：筆者作成]

分類	観光資源名	記載枚数(件数)	分類	観光資源名	記載枚数(件数)	分類	観光資源名	記載枚数(件数)
社寺 (73件)	円覚寺	5枚 (35件)	川/水 9件	清川	5枚 (3件)	殿/堂/鐘 10件	大塔宮籠	5枚 (3件)
	松岡山東慶寺			御馬冷場			撞楼	
	建長寺			福瀬川			神主	
	浄智寺			座禅川	虚空蔵		4枚	
	新居間慶堂			胡桃川	洪鐘		3枚	
	鶴岡八幡宮			間慶川				神主大判氏
	覚園寺			七福神銭洗水				天狗堂
	明王院			逆川	辻の業師		2枚	
	杉本観音			恵比寿川	小別當大庭氏			
	浄妙寺		不老水	板東二番岩殿	1枚			
	海蔵寺		日蓮乞水	1枚	筋替橋	5枚 (1件)		
	英勝寺		金龍水					
	浄光明寺		梶原太刀洗水					
	鼓観音		5枚 (7件)	橋 11件	歌の橋	4枚		
	荏柄天神社				晨清の籠		勝々橋	
	荏柄阿弥陀				葛西谷		琵琶橋	
	報国寺				比企ヶ谷	乱橋	3枚	
	寿福寺				見越ヶ崎	太鼓橋		
	鎌倉大仏				袖ヶ浦	織針橋		
	松源寺				雲山崎	十王堂橋	1枚	
	小別當		由比ヶ浜		炭売橋			
	妙隆寺		大御堂谷		夷堂橋			
	宝戒寺		大懸ヶ谷		4枚	針麴橋	4枚	
	甘縄明神社		釈迦堂谷			日蓮装束掛松		
	本覚寺		雪の下町	琴弾松		3枚		
	大巧寺		塔の辻小町	鏡立松		1枚		
	妙本寺		笹目ヶ谷	山/石 7件	源氏山	5枚 (3件)		
	田代観音		長谷村		衣通山			
	長勝寺		松葉ヶ谷		屏風山			
	光則寺		大町		天台山	4枚		
	長谷観音		横手ヶ原		鶴峰山	3枚		
	御霊神社		和賀江島		天照山	2枚		
	補陀落寺		材木座		石庭	5枚 (5件)		
	光明寺		飯嶋	基氏屋敷跡				
	十二院		山ノ内	頼朝屋敷跡				
	明月院	大蔵町	親王屋敷(跡)					
	瑞泉寺	小富士	北条家屋敷跡					
	薬王寺	今小路(村)	若宮旧跡					
	青梅聖天	辻町	八生寺宮旧跡	4枚				
	十二院門	名越村	八百八十人					
佐助稲荷	花谷	腹切橋						
巽神社	日朗工半	日朗工半	3枚					
妙法寺	小坪村	盛久屋敷(跡)						
祇園天王社	扇ヶ谷	東勝寺跡						
安国寺	福村ヶ崎	2枚	小袋坂	5枚 (3件)				
極楽寺	十二所		亀ヶ谷坂					
丸山稲荷	小町	1枚	北根坂	4枚				
綱引地藏	泉谷		馬場小路					
杉谷弁財天	御猿島		若宮小路					
高德院	乱橋村	3枚	大仏坂	3枚				
身替地藏	弁ヶ谷		名越坂					
法羅陀地藏	切ヶ谷		三浦道寸の城へ					
冷泉島	願の里	1枚	扇ヶ谷坂	2枚				
相郷旗	小塚		段葛					
長寿寺	人丸塚塚		長谷小路					
禪興寺	重保の墓	4枚	岩谷小路	2枚				
大楽寺	実頼の墓		大郡小路					
正宗稲荷	十一人塚	3枚	七里ヶ浜	1枚				
乘光寺	盛久首坐		江ノ島道					
本奥寺	頼朝の墓	1枚	窟小路	1枚				
上行寺	大江慶元墓		坂の下道					
延令寺	島津忠久墓	5枚 (5件)	極楽寺坂	5枚 (3件)				
向福寺	官療屋敷		三浦道					
九品寺	一貫寺へ		三浦道					
実相寺	梶原屋敷	4枚	源氏山	4枚				
住吉社	文覚屋敷		屏風山					
正覚寺	藤氏屋敷	3枚	天台山	3枚				
理智光寺	土佐坊屋敷		天照山					
常楽寺	水戸英勝守殿	2枚	石庭	2枚				
浄泉寺	佐竹屋敷		朝比奈切通し					
安養院	月影ヶ谷	1枚	大仏坂切通し	1枚				
教恩寺	阿仏屋敷		切通し 2件					
延命寺	公方屋敷	1枚						
本願寺	毛利季光殿							
	正宗屋敷							